



校訓「自主・協調・明朗」 平成29年3月9日

日新中学校だより

尼崎市立日新中学校長 尾知山光郎

学校評価（自己評価）【概要】

平成28年度の学校評価（自己評価）の概要をお知らせします。項目は、市教育委員会の示した「重点取組項目」に即して本校で定めた「重点取組項目」ごとに、「○取組と成果」「△課題と改善策」としています。

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力を身につけさせる

○取組と成果

(1) 教員の指導力向上の取組(各教科等研究会活動参加、授業改善アドバイザーの招聘、対話力を高める授業研究、「授業のユニバーサルデザイン化」研修等)

主体的に学習に向かう態度の育成(「日新検定」、放課後等の自主学習「チャレンジ」、eラーニング利活用等で家庭学習の促進等)、思考力・判断力・表現力の向上を図る言語活動(校長講話の振り返り作文)

3年11月学力調査得点分布が6月に比べ向上。英検受検者が昨年度比で倍増、準2級を含む合格者数1.4倍増。

(2) 特別な支援を要する生徒の実態と課題を把握し共通理解を深める会議、研修等を行い、生徒個々の理解、一人ひとりに応じた指導を改善。責任感や達成感を体験させ、社会性と主体性を育てるための他校との連携。

△課題と改善策

教師の授業力向上を図る「授業のユニバーサルデザイン化」等の研修が必要。学力調査で市平均点以上の生徒の比率が低い教科の取組強化、小学校の学習事項が定着していない生徒の学力底上げのための放課後学習等の取組強化が必要。2月入試合格に必要な思考力・判断力・表現力、知識を活用する力の伸長を図り、意欲的に能力を高める発展的学習も必要。

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る

○取組と成果

(1) 道徳の授業を項目分担制で全教員が指導、県教育委員会指定の実践研究に取り組み研究発表。小学校と連携し、社会力育成及び健全育成事業と関連させ、地域ボランティア清掃「日新オールクリーン大作戦」を実行。人間関係と社会性を高める学級指導・学校行事を実施。いじめ等問題行動を認知した場合は即時対応で解消。

(2) 計画性と自律性を育てる指導と、日常的に「時を守り、場を清め、礼を正す」生活規範や集団生活の規律を重んじ、規範意識を高める生徒指導。教育相談や家庭訪問等で長期欠席やいじめ等問題行動の未然防止・早期解決を図り、教室に入りにくい生徒には別室での個別対応。生徒の問題行動件数が平成26年度から16%減少。

(3) 進路及び人権・福祉、情報、防災・安全など「人としての生き方」に関する体験を伴う学習、「自分の最適の学習や進路」を考えさせ、将来の自己実現や進学への意識を高める学習。

△課題と改善策

教材分析力や対話力を高める道徳教育研修を継続。ソーシャルスキルトレーニング研修で教員指導力を向上。小学校と連携し、社会力育成・健全育成のボランティア清掃活動の継続、社会の一員としての自尊感情を高める。言語力や望ましい生活習慣が身に付いていない生徒ほど学力の基盤が脆弱。計画的・自律的に生活する意識を高める生活指導が必要。進路を意識させて学力を高めるためキャリア教育全体計画・年間指導計画を改善。

3 食育や体育を充実させ、健康な体づくりに取り組む

○取組と成果

- (1) 中学校弁当の販売、家庭科や「総合的な学習の時間」等での食育、遅刻を防止し挨拶を励行する朝の校門指導や清掃を励行する美化指導によって、望ましい生活習慣の形成。学級閉鎖ゼロという成果。
- (2) 授業や体育的行事を通じた健康的な生活習慣形成と体力・運動能力の向上。水泳部創設など運動部活動振興、学校外スポーツ活動支援で運動習慣形成と体力・運動能力の向上。全国体力・運動能力調査で女子の成績向上。

△課題と改善策

「体調不良」で欠席・遅刻する生徒が多数。基本的な生活習慣、特に手洗い・うがいという保健習慣が必要。家庭の協力が必要、保健指導と食育の強化。運動時間が一日あたり10分未満の生徒が男女ともに全国平均の2倍。運動に携わる意欲を高める工夫が必要。入学時に11種類の運動部に入部しない生徒が多く、小学校段階で運動が好きになるよう連携が必要。

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る

○取組と成果

- (1) 入学直後1年生向け「自転車」交通安全教室実施。通学路の見回りや踏切横断指導による登校時の交通安全、休み時間中の校内巡回による安全確保に努め、学校管理下における大きな事故の発生を防止。「交通ルールやマナーを守り、安全に登下校をしている」生徒は8割超、休業日など地域生活での交通事故もゼロ。
- (2) 「1. 17を忘れない」地域防災訓練地区会場校として関係機関や地域と協力して訓練を行うなどの防災教育。他の避難訓練や随時警報発令が予想される時の注意喚起で、危機管理能力を育成。自然災害による被害者ゼロ。

△課題と改善策

校内で軽傷事故が頻繁に発生。安全に生活する態度や思考力・判断力を高め、望ましい行動を指導する必要。「自転車安全教室」実施を継続。視聴覚資料を活用し備えの大切さを感じ取らせ、警報時に被災を避ける指導。

5 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む

○取組と成果

- (1) 県教委指定道徳教育実践研究、小中学校合同研修を通して指導力を向上、道徳の授業を改善。県教委指定研究校校長を招き、障がい配慮したわかりやすい授業づくりの研修。生徒の学校適応感を測定する「アセス」を活用し、教育相談を重視した生徒指導を推進し、重大事故を防止。
- (2) 学校評議員、放課後学習や図書館運営等に地域人材を活用。地域施設と連携し学校だより配布。オープンスクール2回6日間参加者数約700名。小学6年保護者対象学校評価アンケートで学校運営改善。水泳部と書道部を創設。小学校卒業者の90%が4月に入学。

△課題と改善策

学力を高め、学校が信頼を得られる授業改善や人権意識向上研修、補充的学習指導機会の充実。放課後学習を専門性を発揮できる地域人材活用に改善。適応が困難な生徒への対応のため学級指導の改善。勤務時間適正化を推進、教員全員が課外活動に何らかの責務を果たす「全員顧問制」の完全実施を継続。

「教育目標」と「研究テーマ」に関する部分は省略します

この自己評価を作成するにあたって参考にいたしました、生徒、保護者及び地域（関係小学校6年生保護者）アンケートへのご協力に対し、あらためてお礼申し上げます。

（裏面に「本校生徒の生活・学力・体力等の状況」を掲載）

本校生徒の生活・学力・体力等の状況 ～平成28年度の調査から～

本校生徒の生活・学力・体力等の状況についてお知らせします。

これは、平成28年度「全国学力・学習状況調査（3年対象）」「全国体力・運動能力・運動習慣等調査（2年対象）」「尼崎市立中学校学力調査（3年対象）」「尼崎市立中学校学習到達度調査（2年対象）」「尼崎市立中学校生活実態調査（2年対象）」の結果の中から、生徒の生活実態、学力・学習状況、体力・運動能力・運動習慣等の状況について特徴的なところをまとめたものです。

1 「全国学力・学習状況調査」（3年対象、2教科+質問紙、4月実施）から（ ）内は全国平均

- (1) 国語、数学とも、知識を問うA問題の正答数（率）は全国平均と同程度で、活用を問うB問題の正答数（率）は全国平均を若干下回った。
- (2) 正答率ごとの分布状況については、国語Aで全国平均程度、国語Bと数学Aで8割以上がやや低く、5～8割で全国を上回り、数学Bでは5割以上で低く、3～5割が全国平均より高かった。
- (3) 生徒質問紙回答から「どちらかといえば」を含む「そう思う」「している」比率（単位%）
 - ・「学校に行くのは楽しいと思う」79（81）
 - ・「国語の勉強は好き」67（60） ・「読書は好き」58（70） ・「数学の勉強は好き」59（56）
 - ・「自分には、よいところがあると思う」66（69）
 - ・「将来の夢や目標を持っている」71（71） ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」86（93）
 - ・「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」68（70）
 - ・「朝食を毎日食べている」87（93） ・「学習塾に通っている」66（61）
 - ・「学校の図書室や地域の図書館に月に1回以上行く」4（19）
 - ・「月～金曜日、学校の授業時間以外に1時間以上勉強する（塾での勉強を含む）」60（68）
 - ・「月～金曜日、2時間以上テレビやビデオ・DVDを観る」59（49）
 - ・「月～金曜日、2時間以上コンピュータ、携帯やスマートフォンを使うゲームをする」52（35）
 - ・「月～金曜日、4時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール等をする」25（9）
 - ・「土日など学校が休みの日に、1時間以上勉強する（塾での勉強を含む）」45（68）
 - ・「家で、自分で計画を立てて勉強している」37（48）
 - ・「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をする」78（74）
 - ・「今住んでいる地域の行事に参加している」17（45）

2 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」（2年対象、5月実施）から（ ）は全国平均

- (1) 体格については次のとおり。
 - ・男子の平均 身長 160.6cm（159.9）、体重 50.0kg（48.5）、肥満は高～軽度 9.8%（7.7）
 - ・女子の平均 身長 153.5cm（154.8）、体重 48.3kg（46.7）、肥満は高～軽度 12.6%（6.6）
- (2) 体力・運動能力については次のとおり。総合評価は、Aから高い得点圏の順。
 - ・男子「握力」30.4kg（28.9） 「上体起こし」25.9回（27.5） 「長座体前屈」38.3cm（43.1）
「反復横跳び」50.7点（51.9） 「持久走」393.8秒（391.7） 「50m走」8.1秒（8.0）
「立ち幅跳び」193.9cm（194.7） 「ハンドボール投げ」19.7m（20.6）
「体力合計点」38.2点（42.1）
総合評価（%）A 1.8（7.8） B 18.2（26.1） C 36.4（37.9） D 32.7（21.6） E 10.9（6.5）
 - ・女子「握力」24.8kg（23.8）、「上体起こし」22.8回（23.5）、「長座体前屈」46.9cm（45.5）
「反復横跳び」47.2点（46.6）、「持久走」296.1秒（288.5）、「50m走」9.1秒（8.8）
「立ち幅跳び」174.4cm（168.3）、「ハンドボール投げ」13.5m（12.9）
「体力合計点」49.4点（49.6）
総合評価（%）A 27.9（28.9） B 29.4（32.5） C 33.8（26.1） D 8.8（10.6） E 0.0（2.0）

(3) 運動習慣については次のとおり。単位は%。

- ・「運動部や地域のスポーツクラブに所属している」男子 85.1 (95.1)、女子 61.7 (67.8)
- ・「放課後や休日に、部活動や地域のクラブ以外で運動する」男子 65.7 (66.4)、女子 42.0 (48.2)
- ・「平日、テレビやゲームを3時間以上 (視聴) する」男子 52.7 (35.3)、女子 34.6 (33.1)
- ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」男子 72.6 (78.0)、女子 62.9 (73.2)
- ・「運動が好き」男子 93.3 (89.0)、女子 77.8 (78.4)
- ・「体力に自信がある」男子 47.3 (48.3)、女子 27.2 (33.4)
- ・「保健体育の授業は楽しい」男子 70.3 (88.3)、女子 87.6 (83.0)

3 「尼崎市立中学校生活実態調査」(2年対象、質問紙、6月実施) から () 内は市平均生徒質問紙回答から「どちらかといえば」を含む「そう思う」「している」比率(単位%)

- ・「学校が好き」75 (80)
- ・「チャイムが鳴るとすぐに授業が始まる」92 (92)
- ・「朝食を毎日食べる」97 (91)
- ・「家で30分以上読書(まんが・雑誌を除く)する」20 (21)
- ・「メールやインターネットをする時間が2時間以上」34 (37)
- ・「SNS(フェイスブック、ライン、ツイッターなど)を2時間以上利用する」20 (20)
- ・「宿題をきちんとする」81 (87)
- ・「学校の授業以外(塾を含む)で1時間以上勉強する」59 (49)
- ・「家の人に言われなくても自分からすすんで勉強する」51 (50)
- ・「家で勉強していてわからないことがあったら自分でやり方を調べる」51 (46)
- ・「自分の気持ちをわかってくれる『友だち』がいる」89 (87)『家族』79 (78)『担任』63 (71)
- ・「自分はこつこつと努力するほうだ」47 (50)
- ・「何かやり始めたら最後までやりぬくほうだ」61 (65)
- ・「将来、人や社会の役に立ちたい」81 (81)

4 「尼崎市立中学校学力調査」(3年対象、5教科、6月・11月実施) から

- (1) 平均正答率が50%を上回った教科は、6月の英語、11月の社会のみであった。
- (2) 6月に比べ11月では、得点分布が上昇(平均以上の得点者が増加)した。
- (3) 2回の調査のいずれにおいても、社会科を除き、市平均よりやや低かった。

5 「尼崎市立中学校学習到達度調査」(2年対象、5教科、1月実施) から

- (1) 学習指導要領の内容の到達度を調べたが、平均正答率が50%以上の教科がなかった。
- (2) 社会科は市平均よりやや高く、他の教科は市平均よりやや低かった。

6 まとめ

- ・「学力」 国語と数学の知識を問う調査では全国水準だが、社会科以外の各教科に課題がある。
- ・「学習習慣」 読書や自主的・計画的に家庭学習に取り組む習慣の確立に課題がある。
- ・「生活習慣」 ゲームやメール等に費やす時間を家庭学習の時間に変えることに課題がある。
- ・「運動習慣」 男子は運動する層が多い。女子は運動をよくする層としない層と2極化している。
- ・「体力・運動能力」 男子は全国平均より低得点者が多く、女子は高得点者が多い。